

五月十九日(内) (官長、長官、次長、短官、外務省) 一〇二〇一

一、料理店の営業休止について

文商代出

二、商工省特別調達庁の設置に因野へ。

進駐軍の工事、建設以後、保持保修——CLD.

その実務の算定に因る。行政と一元化して貰ひたい。

復興院いや小は一時融通ひまよ、メーカーも重ねて貢献の小  
 金詰合广も一元化して貢献の車輌等の研究まで統一。  
 (總) CLD. とては大量の註文が極稀、二つある方よりよのこのつかぬ御  
 もあり得ず、現状のまゝとては、不況不景気のときは機傷工  
 改正下さい、建設面に因るのとては併て下方のよ

一、武蔵会のページの問題。(内務次官)

圓錐の解散から端々跡を残す後遺の遺放問題となる。最近集  
 まっているより小中災各省、地方に因る所とて多く厚  
 生省の文部省に管轄するつた文部省が主とおもやつて併て

2.

(總) 政治部長に連絡して聞け。武鷹令といふ名と軍械官団員が  
銃創造、財物とやら謀略を計りおふ。軍の半数以上を傷り居  
るといひきかず。首領のことを追々其を知りあつてやつくれ  
といつてゐる。

(外) おほいにその手紙の文書が注目と受け取られてゐる。

(内) それは武道専門小の問題である。

一連翰次官

司政長官の手紙は既に廻り、多くある事で、詐欺があつてゐる。